

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	公共交通の維持・活用を核とした集落機能維持推進事業
対象地域	岡山県笠岡市神島地区
対象地域の概要	・神島は、元来離島であったが干拓により地続きとなっており、神島（内浦）と神島外浦の2つの自治会から成っている。  【位置図】
提案内容の概要	・昨年度の公共交通の確保を中心目的とした事業を通して、地域住民の意識啓発を充実させ、集落機能の維持や集落づくり活動への参画を促すことが重要との結論を得た。 ・このため、<u>地域住民が地域に対する愛着を取り戻すことで連帯感を回復することに重きを置き、地域住民による「点検マップ」の作成とあまりかわりを持つことのなかった巡礼者への「お接待」を展開した上で、地域住民の協力による公共交通の運行実験に取組み、持続ある取組みへとしていく。</u>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	・現在は、架橋や干拓地を通じて本土と陸続きとなっているものの独立したコミュニティが形成されている神島地区では、人口が5年間で8%減少し、高齢化率も44%と高く、特に生活サービス機能として公共交通の確保が大きなテーマとなっている。 ・昨年度、本モデル事業に採択いただき、公共交通の維持・活用を核に集落機能の維持・推進を図ったところであるが、ワークショップと社会実験を行った結果、地域住民の意識・行動力が十分には広がっていないことが分かり、意識啓発を充実させ、集落機能の維持や集落づくり活動への参画を促すことが必要不可欠との結論を得た。
(2) 活動内容の案	活動①：「神島点検マップ」の作成 内容： ・地域住民の多くの間で薄れつつある神島に対する愛着を呼び起こすため、地域住民自らが歩いて「資源と課題」について点検してまわり、「点検マップ」を作成する。 ・点検作業に参加しなかった住民にもより身近なことから啓発するとともに、神島の出身者や観光訪問者等に対しても愛着を持ってもらうよう、作成した「点検マップ」については清書して印刷し、各戸への配布と主要公共施設への設置、ホームページ等への掲載依頼を行う。 ・小学校のイベントや地域の年中行事等において、作成者自らが「点検マップ」の発表を行う。 活動②：神島八十八ヶ所巡り巡礼者に対する地区としての「お接待」の展開 内容： ・地域住民が地域に対して誇りを持つとともに、巡礼者が神島に愛着を感じて再び訪れてもらえるよう、神島を訪れる都市住民（巡礼者）に対して、巡礼コースの先々で地域住民が「お接待」を行う。 ・具体的には、協力いただける地域住民・グループを募り、巡礼者に対して地域のことを話し、地域の特産品や手料理等を提供し、交流してもらう。

	活動③：公共交通の充実に向けた運行実験
	内容： ・前年度立案した公共交通の充実化に向けた提言内容について、試行的に運行実験を行い、検証を行う。 （朝、バスが通らない地域をワゴンが回り、既存のバス路線に途中接続する形を想定） ・特に、地域住民(車で通勤する人)に、バスの存続に向けて不便覚悟でも地域のために協力しようと思ってもらよう、公共交通の充実化（利便性の向上）を図る。
応募団体名	笠岡市公共交通の維持・活用を核とした集落機能維持推進協議会 （神島協議会、神島外浦自治振興会、笠岡市、(特)おかもやま多機能サポートネット、(特)かさおか島づくり海社、(特)NPO 支援全国地域活性化協議会（ありがとうネットワーク））
リンク	
部局／担当者名	事務局長 宇根山 肇（神島協議会） 担当 吉戸 勝 （(特)NPO 支援全国地域活性化協議会（ありがとうネットワーク））
連絡先	0865-67-4124 03-3263-3861
推薦市町村名	笠岡市